

○副議長（曾根嘉明議員） 次に、高木紀子さん。

〔3番 高木紀子さん登壇〕

○3番（高木紀子さん） 島田市の産業支援施策について申し上げます。

私が焼津市からお嫁入りして26年、にぎわいのあった地元の商店街がすっかり様変わりしてしまいました。職場のある焼津市や藤枝市でも、地域活性化が激しく叫ばれ、商店街や地元中小企業の状況についても大変厳しい状況にあると思います。私自身も何かできないのか考えるようになりました。

そこで、島田市の産業支援策について、以下のとおりお伺いいたします。

1の(1)旧ジャスコ周辺におけるまちづくりの計画があるかお伺いいたします。

(2)厳しさを増す経営環境に立ち向かうための中小企業への助成制度はどのようなものがあるかお伺いいたします。

(3)資金繰りが厳しい中小企業の経営改善や事業再生の促進を図るため、市はどのようなことをしているのかお伺いいたします。

次にテーマ2、島田大祭の参加人員の確保についてお伺いいたします。

島田大祭の運営に支障を来すほど参加者、特に若者の参加が激減していると聞いております。江戸時代から続く伝統的な祭典である島田大祭の運営について危機感を感じております。

そうした状況の中、参加者をどう募っていくか、以下のとおり質問いたします。

(1)参加者は総勢何人いるのかお伺いいたします。

(2)参加者は充足しているのかお伺いいたします。

(3)参加者の募集はどのようにかけているのかお伺いいたします。

(4)市では参加者募集について、どう関わっているのかお伺いいたします。

以上で、壇上での質問を終わります。

〔3番 高木紀子さん発言席へ移動〕

○副議長（曾根嘉明議員） 染谷市長。

〔市長 染谷絹代登壇〕

○市長（染谷絹代） 高木紀子さんの御質問にお答えさせていただきます。

まず、1の(1)の御質問についてお答えをいたします。

旧ジャスコ周辺におけるまちづくりの計画につきましては、平成12年度に旧中心市街地活性化法に基づく中心市街地活性化基本計画を策定し、おび通りを中心とした島田中央第三地区土地区画整理事業を実施いたしました。それ以降は新たに策定したまちづくりの計画はございません。これからの中心市街地のまちづくりについては、そこに暮らす商業者の皆様が商店街をどうしたいのかというお考えが大切になると思いますので、そうした商業者の皆様の御意見を伺いながら、協働、連携によりまちづくりを進めていきたいと考えております。

次に、1の(2)の御質問についてお答えをいたします。

中小企業への市の助成制度といたしましては、融資制度と補助制度があります。少し細かく専門的な話になりますが、お聞きください。

融資制度としては、小口資金と短期経営改善資金があり、これはいずれも市が金融機関に利子補給することで金利を下げる制度になります。

なお、小口資金は運転資金及び設備資金として融資するもので、融資限度額は700万円、融資期間は5年以内、短期経営改善資金は運転資金として融資するもので、小口資金と同じく融資限度額は700万円ですが、融資期間は5カ月となっております。

また、補助制度といたしまして小口資金融資信用保証料補助金、地域産業振興事業費補助金、富士山静岡空港就航先販路開拓事業補助金を実施し

ております。

小口資金融資信用保証料補助金は、小口資金を借り入れるときに信用保証協会に支払う信用保険料の45%を補助するものです。地域産業振興事業費補助金は機械設備や環境に配慮した施設整備等新製品の研究開発に対して、機械設備を整備する場合は100万円、環境改善、研究開発をする場合は50万円を限度として補助するものであります。

富士山静岡空港就航先販路開拓事業費補助金は、富士山静岡空港の就航先においてアンテナショップを設置したり、展示会を開催する場合に100万円を、展示会に出展する場合には、50万円を限度として補助するものです。

次に、1の(3)の御質問についてお答えをいたします。

中小企業の経営改善や事業再生の促進については、島田商工会議所と島田市商工会が事業者への巡回訪問や金融、経理等の各種相談と指導業務を実施しており、市といたしましては、実施団体である島田商工会議所、島田市商工会へ補助金を交付しております。

さらに、本年7月25日に中小企業への支援体制の強化を目的に、島田市と島田商工会議所、島田市商工会、島田信用金庫の4団体が業務連携・協働に関する覚書を締結するとともに、島田市中小企業支援協議会を設立いたしました。今後、この協議会が中心となって中小企業の支援に努めてまいります。

次に、2の(1)の御質問についてお答えをいたします。

島田大祭の運営主体である島田大祭保存振興会によると、平成25年の第107回島田大祭には総勢約3,500人から3,700人が参加していると伺っております。

次に、2の(2)の御質問についてお答えをいたします。

地元の参加者については年々減少している状況

にあり、いずれの街においても参加者の確保に苦慮していると伺っております。

次に、2の(3)の御質問についてお答えをいたします。

参加者については、各街でそれぞれ募集を行っております。具体的には、前回参加者、地元出身者への呼びかけや地元高校を訪問して高校生の参加の呼びかけを行っているというふうにとっております。

次に、2の(4)の御質問についてお答えをいたします。

島田市としても各街からの要請に応じ、広報しただけ等に参加募集のお知らせを掲載し、全市的に呼びかけを行うなど側面的な支援を行っております。また、次回開催に向けては早い段階から参加者の確保などの課題について全体で検討し、対応する必要があると考えております。

以上、御答弁を申し上げます。

ちょっとアレルギーがあって、聞きづらかったこと、大変申し訳なく思います。

なお、再質問につきましては担当部長から答えさせる場合がありますので、よろしくお願いを申し上げます。

○副議長（曾根嘉明議員） 高木さん。

○3番（高木紀子さん） 市長、御答弁ありがとうございました。

先ほど御答弁いただいた中で、島田市、商工会、金融機関の3者の連携は新聞紙上で内容を拝見させていただきました。このような支援策について、知らない中小企業者がまだたくさんいらっしゃると思います。このことについてもう少し詳しく教えていただければと思います。お願いいたします。

○副議長（曾根嘉明議員） 北川産業観光部長。

○産業観光部長（北川雅之） こうした中小企業への支援体制の強化ということを目的にしまして、島田商工会議所、島田市商工会、島田信用金庫、それから島田市、これらが連携をして、今までも

個別に支援はしてきたわけですが、連携をして窓口を一本化して、いろいろなところを回って支援を相談していくということではなくて、わからない方が例えば市へ来た時に、市のほうでいろいろな相談者や専門家の皆さんを御紹介したりということができるような組織をつくりたいということで、連携をして中小企業者の支援をしたいという思いでこの協議会をつくったものでございます。これから、協議会で市単独ではできなかったようなことを含めて中小企業の支援をしていきたいと考えております。

○副議長（曾根嘉明議員） 染谷市長。

○市長（染谷絹代） この協議会はワンストップサービスができるということと、もう一点は、それぞれの特色あるスキルを、持ち味がありますから、商工会議所さん、商工会さん、島信さん、そして行政のそれぞれの得意分野を生かしながら、中小企業の支援をより良くやっつけよう。そしてまた、これから起業したいと思う方への支援をやっつけようという、そういった考えでございます。

○副議長（曾根嘉明議員） 高木さん。

○3番（高木紀子さん） ありがとうございます。

テーマ1の産業支援策については、わかりやすく御説明いただき、皆さんにもたくさん伝わったかと思えます。今後もまだまだたくさん知らない企業の方への周知に努めていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

テーマ2の島田大祭の参加人員について調査いただきまして、ありがとうございます。今後、島田大祭を運営するに当たって、若者の参加が重要だと考えております。市も積極的に御支援をいただきますよう御協力をお願いいたします。

以上で、私の質問を終わります。

○副議長（曾根嘉明議員） 北川産業観光部長。

○産業観光部長（北川雅之） 島田大祭について、人員の不足とか、それから資金もだんだん民間企業の皆さんは厳しくなって、寄附金とかが少なく

なって大変だというようなお声はいただいております。

今まで準備は、大祭の保存会の皆さんが前の年から準備をしてきたわけですが、いろいろな課題があるということを認識しまして、次回の大祭については、もう今年から少し動き始めよう。そして、課題を検討していきましょうという動きが出ております。なるべく早くから準備を進める。また、市としては大祭のPRをして、お祭り気分を盛り上げることで、参加者を募っていきいたいとか、私も参加してみたいというような気持ちを市民の皆さんに感じていただいて、参加をしていただくことができるような、そんな仕組みを検討していきたいと考えております。

○副議長（曾根嘉明議員） 染谷市長。

○市長（染谷絹代） 島田大祭につきましては、私は300数十年続いた島田の歴史、そしてまた誇りある大祭であると思っております。島田大祭を知れば知るほど、多くの市民の皆様にもそれを御理解いただき、島田市全体の誇りある祭りとしていきたいという思いもでございます。

ただ一方で、本通りのもとからあるお祭りの街の方たちにとっては、それぞれの街ごとのしきたり、口上、そういったものもあって、それがそれぞれの街の特色でありますから、そういったことがなくなってしまうということに対して、やはり自分たちの伝統を守りたいと、そういう思いの方もおられます。

ですから、今まさにせめぎ合いのときであります。これからの島田大祭がどのような形でよりよく継承されていくのか、そこに若い担い手たちがどのように入っていくのか。資金面でのさまざまな課題をどうクリアしていくのかというものがござります。

本通りには、私の知っている限りでも、365日お祭りのことを考えているという若い方たちもおられます。そういった若い方たちの声が届くよう

な、そういったことも検討しながら、今回は今年の夏から、2年前からお祭りの準備を始める、そういった話し合いの場を持つというか、持たれていくということですので、少し早めに準備をし、またさまざまな課題の一つでも改善できていけばいいなと考えております。

○副議長（曾根嘉明議員） 高木さん。

○3番（高木紀子さん） ありがとうございます。

こういった機会を設けさせていただき、大変ありがとうございます。私はほかの議員の方の発言を聞きまして、思いがけず涙を流してしまいました。今回、こういった機会で自分の一生の宝物にしたいと思います。どうもありがとうございました。